



愛知県名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル5F



TEL 052-446-5196 FAX 052-446-5197

Company Profile

Correct Planning + Continue Follow Up + Action on Time = Achieve Success
We provide the perfect shape of the customers demand with needs & seeds

企業理念

BEYOND YOUR EXPECTATIONS

一人ひとりのニーズに合う、
商品やサービスを。

XCEED は技術や品質など、あらゆる面でお客様の期待値を越えるものを提供することで
お客様の商品の価値を高めていきます。

独創的なコンセプトと先進の技術

自社開発の全自動ロボットバリ取り機「XTGシリーズ」は、複雑形状のワークに
これまでは出来なかった高精度な仕上がりのバリ取り・研磨・切断を実現しました。





鑄造関連事業

鑄造は、溶かした金属を型に流し込んで固め、製品をつくる金属加工方法で、その製品は鑄物と呼ばれます。鑄物は、自動車部品や機械部品をはじめ、身の周りの多岐に亘り用いられ、私たちの暮らしを支えています。XCEEDは、技術立国日本のハイレベルな鑄造分野で培った先進的な技術と独創的なコンセプトで設備の開発・販売を行い、グローバルに展開しています。



全自動ロボットバリ取り機 XTG シリーズ

最新技術を用い、お客様のあらゆるニーズを一台に収めた次世代のバリ取り機XTGシリーズ。6軸ロボットとインデックステーブルの組み合わせにより、他社では実現できない複数ワークの同時加工を可能にしました。細密な研削加工で、複雑な形状でも精巧な仕上げを実現します。また、ロボットアームの先端に搭載されたフローティングシステムにより、加工のバラつきや過負荷による異常停止を防ぎます。これまでの設備とは異なるコンセプトで開発された、新世代のバリ取り機です。

ダイヤモンドディスク (ダイヤ砥石)

ロボットバリ取り機用 (対象材質 FC / FCV / FCD / BC / AC) の面取り・切断砥石「Diamondシリーズ」の開発・販売をしています。長寿命化によるランニングコストの低減、メンテナンスの軽減を実現。豊富なラインナップの中からお客様のワークに最適なオリジナルの砥石をご提案しています。



その他、商品・サービス

- ・各種ロボットバリ取り装置 (中子・加工後) の販売
- ・各種バリ取り装置の治具製作・ティーチング
- ・鑄造工場の搬送ライン設計・製作



輸出入事業

現在 XCEED では、インドの拠点と連携し、主に日本-インド間の輸出入事業を手掛けています。



お客様の輸出サポート

「日本の良い製品、日本の安全な商品を輸出したい」「インドへ事業進出したい」「海外に新しい販路を開拓したい」、しかし、「輸出のルートがない」「販売先が見つからない」「通関手続きが分からない」など、お客様のお困りごとを解決するためのサポートをしています。自社のノウハウを基に、マーケットリサーチから情報提供・商品管理など様々な対応が可能です。通常の取引方法は大きく分けて2パターン。ひとつは、当社が商品を買取りする方法で、お客様と取引条件について契約したうえで、当社が海外での販売を行います。もうひとつは、既にお客様が海外の取引先や販売先を確保されている場合、国内・海外での通関業務・物流業務を当社が代行いたします。

お客様の輸入サポート

お客様の要望をお聞きしたうえで、海外メーカーの中から品質・価格バランスの取れた優良メーカーを選別。特にインドには強力なネットワークを持ち、最新の需要動向や情報、高品質な商品をお客様にお届けします。商品の企画・開発からプロデュース・プロモーション戦略・ブランディング・販促ツールの製作・販路開拓まで、経験豊富なスタッフがトータルにプロデュースいたします。

自社の輸出入販売事業

鑄造分野において、自社開発した設備及び海外販売代理店契約を結んだ日本の鑄造設備メーカーの商品を海外に輸出・販売しています。主な商品では6軸ロボットバリ取り機XTGシリーズ、鑄物砂再生設備などがあり、製造メーカーと共に世界各地でセミナーを開催したり展示会に参加し、新規顧客の開拓や商品開発に活かしています。海外からは、貴重な鉱物資源材料(シリカサンド・ベントナイト・マイカサンド・ガーネットサンド等)を輸入し販売しています。



インドインフラ関連事業

現在、インドは7%近い経済成長率を10年以上維持し続けており、JBIC (国際協力銀行) が発表した調査では、中期的有望事業展開国ランキングで中国を押さえ1位に輝きました。今後、インドにおける中間層は2020年には62億人にも上るとみられており、2030年やその先を見据え、巨大な市場としても世界から注目を集めています。

しかし現状、日本とインドの年間貿易取引額は日本と中国の取引額と比べると、10分の1にも満たない状況です。この原因は、ひとえに日本とインドを繋ぐ人材が両国共に不足していることにあります。

XCEEDは、インド各省庁からの要望に応じて、日本製品の調査や日本・インドのインフラ関連企業のマッチングなど、様々な案件を幅広く取り扱っています。現在は、インド政府が推進する鉄道関連プロジェクトをはじめ、排水事業・ゴミ処理関連事業など、今後も急速な拡大が期待されている分野で、日本とインドを結びつけるインフラビジネスに取り組んでいます。





Bussiness Performance between Japan and India

技術や品質において秀逸した日本と世界有数の市場を持つインド。これら二つの国は、今後は互いに協力しあって産業や経済の発展に寄与していくべきだと考えています。

XCEEDは、私自身が約20年間日本の商社や鋳造総合エンジニアリングメーカーの現場で培った技術や知識、国内外営業経験を基に、日本とインドの事業の懸け橋となるべく2013年に創業いたしました。

現在、当社が最も力を入れているのは、世界トップの技術水準を誇る「日本のものづくり」を武器にした事業です。鋳造事業では、これまでにはなかった新しいコンセプトの全自動ロボットバリ取り機の開発をはじめ、鋳造関連の設備・サービスを提供し、国内外で高い評価をいただいております。

また、日本からは高品質な工業製品の輸出を、インドからは天然資源マテリアルなどを輸入する輸出入事業に加え、インドの国家プロジェクトであるインフラ関係のビジネスにおける両国の企業間のマッチングなどを行うインドインフラ関連事業まで、幅広く事業を展開しています。

今後とも、多様化する時代のニーズやシーズに応えるべく、豊富な経験に裏付けられた確かな技術と幅広いネットワークを活かして、優れた製品・サービスを提供していくことで、お客様と共に成長し歩んでまいりたいと考えています。

PRESIDENT&CEO シャルマ・スニール

沿革

- 2013年 株式会社XCEED(エクシード) 設立 (愛知県名古屋市)
- 2014年 自社開発「全自動ロボットバリ取り機XTGシリーズ」の販売を開始
全自動バリ取り機XTGシリーズの海外展開を開始
- 2015年 砂再生機サンドフレッシュャーの海外展開を開始
- 2016年 輸出入事業開始 (ガーネットサンド・シリカサンド etc.)
鋳造工学会世界大会に出展 (バリ取り機XTGシリーズ・砂再生機サンドフレッシュャー)
IFEX(International Exhibition on Foundry Technology, Equipment, Supplies and Services) インドに出展
- 2017年 全自動バリ取り機XTGシリーズダブルステーション販売を開始 (国内大型プラントに複数台納入)
- 2018年 インド拠点XCEED INDIA(エクシードインド) 開設

会社情報

会社名	株式会社エクシード (XCEED Pvt. Ltd.)
代表取締役	シャルマ・スニール (PRESIDENT & CEO Sunil Sharma)
本社住所	〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル5F
会社設立	2013年8月
資本金	10百万円
売上額(2017)	200百万円
従業員数	10名 (2018年現在)
主要取引銀行	三菱UFJ銀行 北陸銀行



海外拠点

XCEED INDIA OFFICE

70/B, GIDC., Phase-1, Opp. State Bank of India,
Nr. Chowksi Tubes, Vatva, Ahmedabad Gujarat-INDIA

インド国内代理店

CRYSTAL FOUNDRY FLUXES Pvt. Ltd.

70/B, GIDC., Phase-1, Opp. State Bank of India,
Nr. Chowksi Tubes, Vatva, Ahmedabad Gujarat-INDIA

DHANALAKSHMI CONTROLS & EQUIPMENTS

No 37/1, Sivasakthi Nagar, Thekkupalayam Po., Near
Kalapana Bakery, Periyanaickenpalay, Coimbatore, Tamil Nadu-INDIA

